



自慢の歌声を響かせるロータリークラブの合唱団員たち＝中区の中京大学文化市民会館で

被災者支援 慈善の歌声

中区 RC合唱団連が公演

名古屋地区ロータリー012」が二十四日、ロータリー合唱団連合会 中区の中京大学文化市民会館で開かれた。連合会は昨年三月の震災で被災した若者に義援金を送ろうと、市内や周辺のロータリークラブの七合唱団で結成。昨年六月に第一回コンサートを聞き、五十五万円を

あしなが育英会に寄付した。今年も七合唱団が参加。シューベルトの「ドイツミサ」、永六輔さんの「見上げてごらん夜の星を」、アメリカ民謡の「峠の我が家」など多彩な合唱を披露。「故郷」を全員合唱して閉幕した。震災直後に宮城県女川町を訪れた連合会の盛田和昭会長(ハシ)はあいさつで「まだまだ復興は終わらない。十年

を続けよう」とメンバーに呼び掛けた。
(相坂穰)